

高病原性鳥インフルエンザが国内で発生

10月17日に北海道で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）が発生しました。家きん飼養農場での発生として、これまでのシーズンで最も早い初発事例となります。その後、23日に千葉県、26日に新潟県、そして31日には島根県でも発生し防疫措置が行われました。

今シーズンは野鳥でも既に国内で6例の発生があるほか、隣国韓国の野鳥でも検出されています。渡り鳥の飛来が本格化する中で、環境中のウイルス濃度が高くなる可能性があり、最大限の警戒が必要です。

農場周辺に鳥インフルエンザウイルスが存在しても、農場、人、物、車両の消毒等により、**ウイルス量を一定量以下まで減らせれば、感染を防ぐことが可能**です。防鳥ネット破損の確認、必要に応じた修繕、鶏舎入場時の靴の交換、手指消毒等、**飼養衛生管理の行動一つ一つが発生リスクを下げることに繋がります**。作業者全員が同様に取り組むことが重要ですので、改めて日頃の衛生管理手順を見直してください。**今シーズンを乗り越えられるよう、頑張りましょう！**

＜令和6年（2024年）シーズンの鳥インフルエンザ発生状況＞ （10月31日時点、農林水産省HPより、一部改変）

○野鳥 1道4県9事例

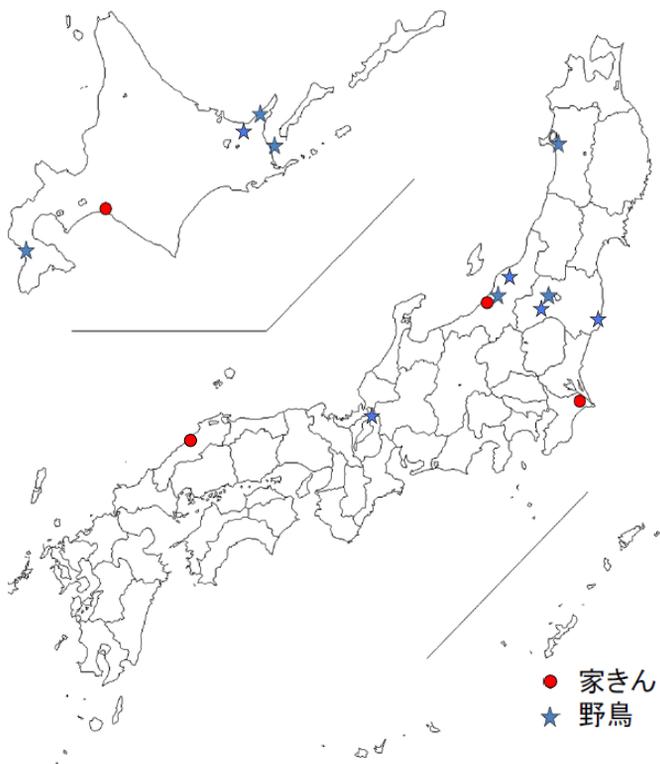
※詳細は環境省HP参照 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

検体回収場所	検体回収日	種名	病原性	亜型
1 北海道乙部町	9/30	ハヤブサ	HPAI	H5N1
2 北海道別海町	10/8	糞便(カモ類)	HPAI	H5N1
3 北海道斜里町	10/16	オジロワシ	HPAI	H5N1
4 福島県会津若松市	10/18	コガモ	HPAI	H5N1
5 新潟県長岡市	10/21	オオタカ	HPAI	H5N1
6 秋田県潟上市	10/21	コガモ	HPAI	H5N1
7 新潟県阿賀野市	10/23	オオタカ	HPAI	H5N1
8 北海道清里町	10/24	オオハクチョウ	HPAI	H5N1
9 滋賀県長浜市	10/25	ハヤブサ	HPAI	H5亜型
- 福島県いわき市	10/26	カルガモ	LPAI	-

※HPAI：高病原性鳥インフルエンザ LPAI：低病原性鳥インフルエンザ

○家きん 4道県4事例

発生場所	発生日	種類	飼養羽数	病原性	亜型
1 北海道厚真町	10/17	肉用鶏	約2.0万羽	HPAI	H5N1
2 千葉県香取市	10/23	採卵鶏	約3.7万羽	HPAI	H5N1
3 新潟県上越市	10/26	採卵鶏	約0.02万羽	HPAI	H5
4 島根県大田市	10/31	採卵鶏	約40万羽	検査中	検査中



● 家きん
★ 野鳥

牛肉骨粉の鶏・豚用飼料への利用が再開されます（R6.10月 施行）

	牛の飼料	鶏・豚の飼料	養殖魚の飼料
牛の肉骨粉	×	○	○
豚の肉骨粉	×	○	○
鶏の肉骨粉	×	○	○

今回解禁

牛肉骨粉を使った鶏や豚用飼料は、容器の専用化や注意事項の表示等を行い、誤って牛に給与されることを防止します。

牛肉骨粉の鶏や豚用飼料への利用が23年ぶりに使用解禁されます。

日本で BSE が発生して以来、飼料安全法により肉骨粉の飼料への利用を規制していましたが、リスク評価を行った上で、飼料規制の範囲の見直しが随時実施されています。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/siryu/bse.html>

特定家畜伝染病防疫指針が改正されました

牛疫、牛肺疫、口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱及び高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針が10月31日付けで改正されました。

新しい鳥インフルエンザの指針では、疾病発生時のまん延防止についての項目において、家きんの所有者が当該家きんと殺並びに死体の焼埋却及び化製処理を実施する第一義的責任を有していることが明記されたほか、浸潤状況を確認するモニタリング検査方法、HPAI発生時の監視を強化する監視強化区域の新設及び各制限区域解除要件等が見直されました。

防疫指針全文は、下記の農林水産省HPまたは右のQRコードから確認することができます。



https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_bousi/

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
口蹄疫 (FMD)	不明	中国	牛	令和6年10月22日
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国	豚	令和6年10月13日
高病原性鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	韓国	採卵鶏 あひる	令和6年10月29日

令和6年10月31日時点



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

